

経営比較分析表（令和3年度決算）

大阪府地方独立行政法人りんくう総合医療センター りんくう総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,049	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

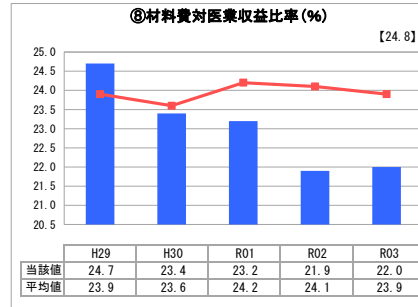
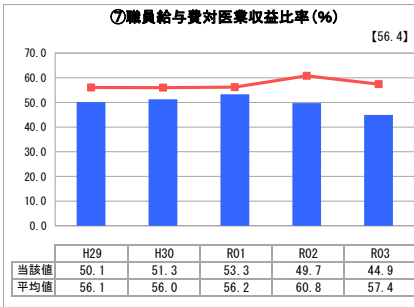
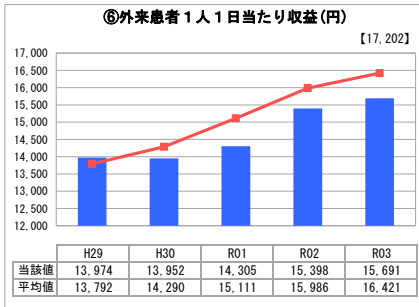
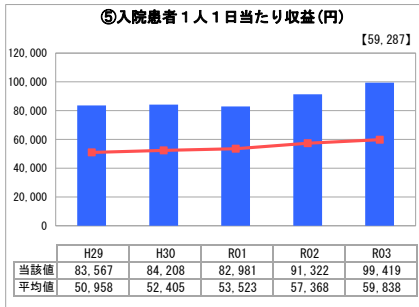
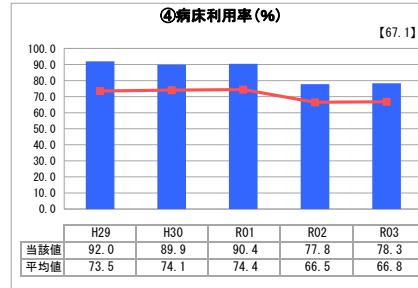
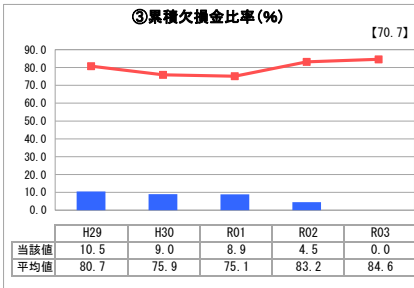
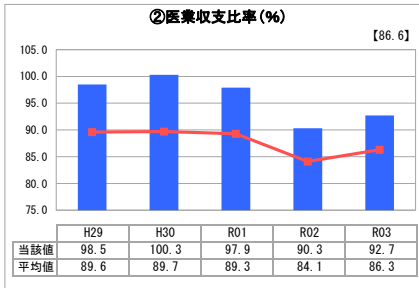
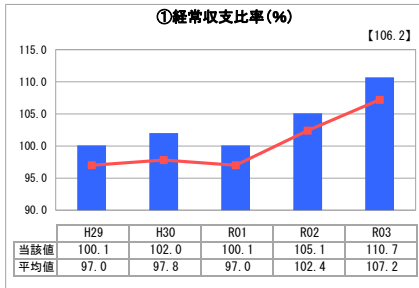
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
378	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	10	388
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
378	-	378

グラフ凡例

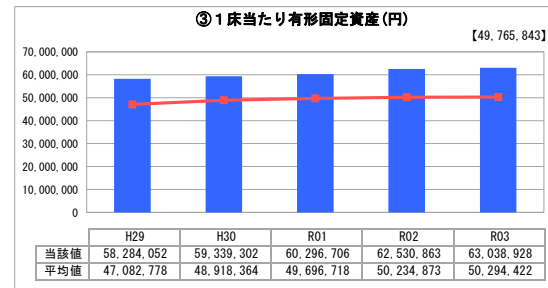
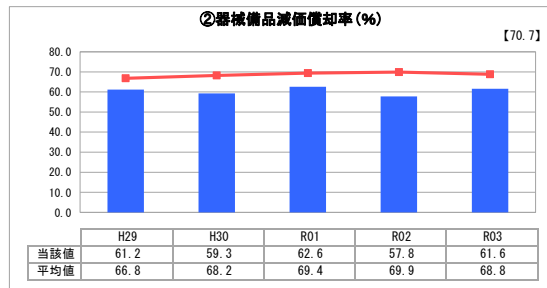
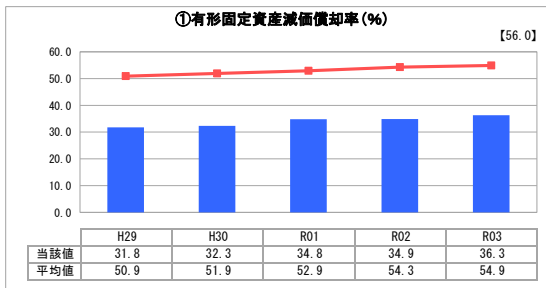
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成25年度	平成23年度	-年度

I 地域において担っている役割

・泉州南地区における4疾病4事業を地域で完結するための急性期医療の提供

・がん、脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患（循環器救急疾患含む）、糖尿病の高度医療・先進医療の提供

・災害医療、救急医療、小児医療、周産期医療の不採算医療の提供

・地域医療支援病院としての病診連携

・感染症センター、国際診療の特殊部門に関わる医療提供

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、新型コロナウイルス感染症の影響は残っているものの、入院準備の増などにより営業収益が過去最高となったこと、補助金収益も前年度を上回ったことから、5.6ポイント前年度を上回る結果となった。

② 営業収支比率は、営業収益は過去最高となっているが、高額医療材料の使用割合の増等による材料費等支出も増加しており、昨年よりは回復しているが、新型コロナウイルス感染症の流行前水準までには回復していない。

③ 累積欠損金比率は、令和2年度に引き継ぎ当期純利益を計上したことにより累積欠損金が解消されたため、令和3年度については0となった。

④ 病床利用率は、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の病床確保のため、前年並みとなった。

⑦ 職員給与費対営業収益比率は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、営業収益が過去最高となったこと、補助金収益が前年度を上回ったことから、各比率が低下した。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は、施設及び医療機器等の老朽化が進む中、必要最小限の範囲で順次更新していることから、類似病院平均値及び全国平均を下回っている。

一方、1床当たり有形固定資産では、高度な医療を提供するための投資が多く、類似病院平均値及び全国平均に比べ、投資額は高い状況となっている。

全体総括

この5年間で、医師及び看護師等を安定的に確保し病床稼働率の向上に努めた結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度を除き平成29年度以降は139億円前後の営業収益を維持してきた。一方で、医療制度改正等に対応していくため、医師及び看護師等の医療体制の確保等による人件費、営業収益の増加に伴う材料費の増加、消費税増税、診療報酬改定等の影響により、収支不足が生じていた。令和3年度においては、営業収益が過去最高となったこと、補助金収益も前年度を上回ったことから、累積の損失額が解消され、未処分利益を約9.8億円計上することとなった。

平成29年度に策定した財政再建プランに基づき経営改善に取り組んだ結果、平成30年度以降は当期損益において黒字を計上することとなった。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、営業収益が過去最高となったこと、補助金収益も前年度を上回ったこと等から、当期損益で約17億5千万円の黒字となった。今後も、健全かつ効率的な病院経営に取り組み、老朽化に伴う施設整備等を実施していく。